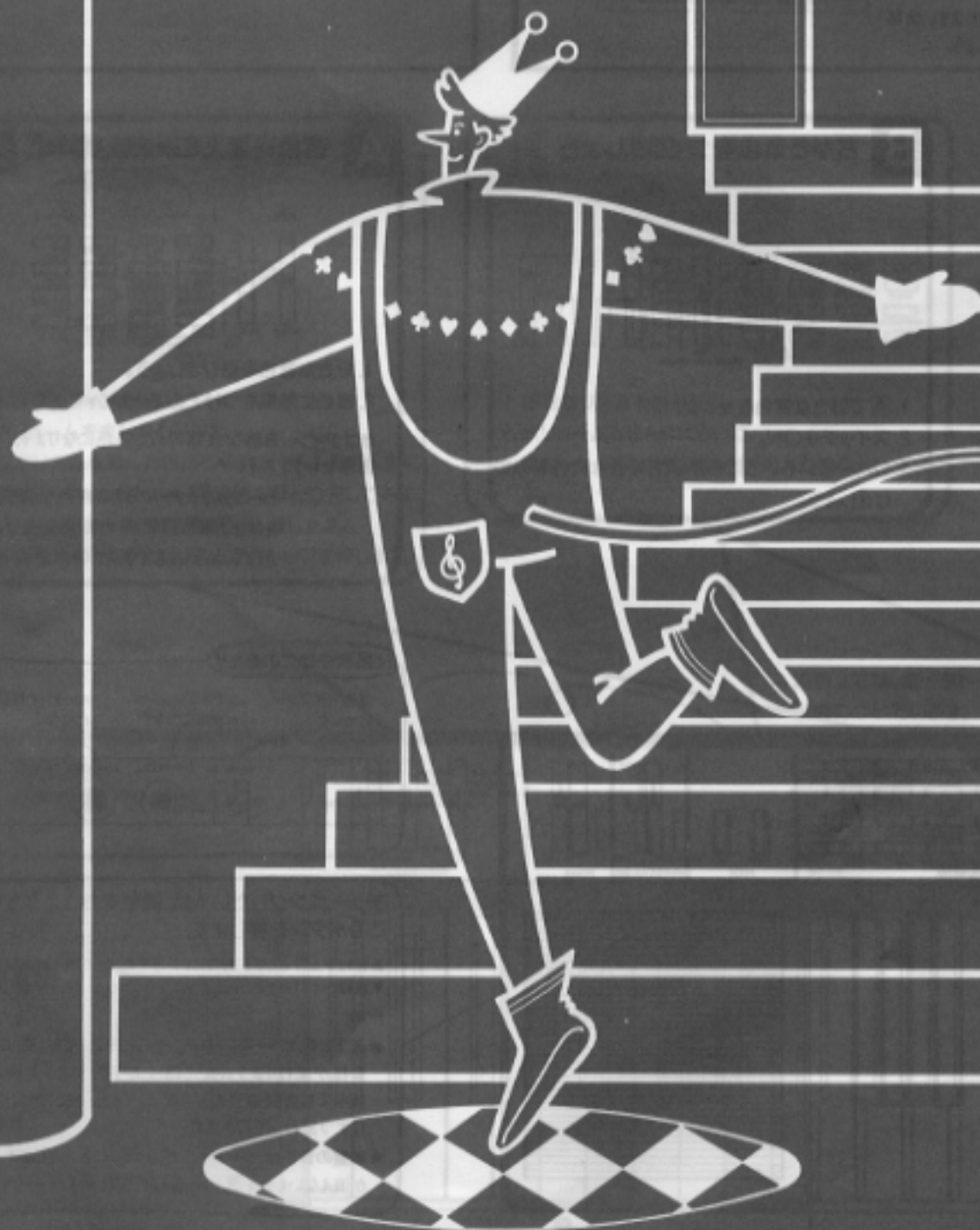


PORTATONE

PSR-22

ガイドブック
(取扱説明書)



YAMAHA

ヤマハポータートーンをお買いあげいただき、 ありがとうございました。

これだけは読んでおきましょう。

ポータートーンを使い始める前に、下の〈取扱上の注意〉と、〈ポータートーン早わかり〉だけは読んでおきましょう。ポータートーンをつかいこなすための基本です。

お読みになったあとは、

大切に保管して、わからないことが出てきたら、もう一度ご覧になってください。また、別冊の〈ブレイメイト〉は、オートベースコードをつかって演奏する時に、そばに置いておくと便利です。

も く じ

	ページ
ポータートーン早わかり	1
A オーケストラ	4
B デジタルシンセサイザー	5
C リズム	6
D カスタムドラマー	7
リズムパターンの実例	9
E オートベースコード	10
■ Let's Play	
● マイウェイ	13
● ちなしの花	14
● オンザサニー サイドオブザストリート	15
● 君といつまでも	16
故障と誤りやすい現象	17
仕様	18

取扱上の注意

- ①こんな所には置かないでください。
 - 暖房器具のそばや日中の車内など、極端に温度が高い場所。
 - 湿気の多い場所。
- ②こんな所ではお使いにならないでください。
 - テレビやラジオをつけている時に、そのすぐ近くではお使いにならないでください（雑音が発生する場合があります）。
- ③無理な力を加えないでください。
 - 落としたり、上に座ったりしないでください。
 - ボタンやスイッチなどに、無理な力を加えないでください。
- ④使用後は
 - 必ずパワースイッチを切ってください。
 - 長い間使わないときは電池をぬいておいてください。
 - 電源アダプターを使用している場合も、使わないときはコンセントからぬいてください。
- ⑤お手入れは
 - 柔らかい布でカラ拭きをしてください。
 - 汚れがひどいときは、少し水で湿らせた布で拭いてください。
 - アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
 - 塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があるので注意してください。



ポータートーン早わかり

とりあえずここだけ読めば、ポータートーンは動かせます。くわしくは ➡ のページをご覧ください。



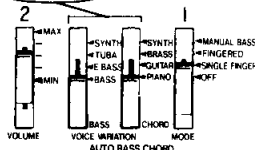
好きなところから始めましょう。

したく 1 電源のしたく ➡ したく 2 音を出す準備

- A オーケストラ ➡ 4ページ
- B デジタルシンセサイザー ➡ 5ページ
- C リズム ➡ 6ページ
- D カスタムドラマー ➡ 7~9ページ
- E オートベースコード ➡ 10~12ページ

E 自動伴奏にトライ ➡ オートベースコード 10~12ページ

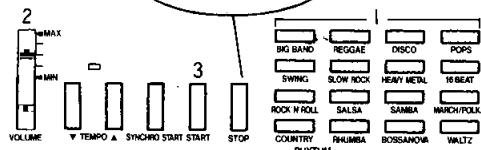
伴奏の音色を
変えるレバーです。



1. シングルフィンガーにセット。
2. ボリュームをまん中くらいに。
3. [C] でリズムを選んだら、シンクロスタートを押します。
4. [E] のオートベースコード用鍵盤をひとつ押してみましよう。にぎやかな伴奏が鳴り出しましたネ。伴奏を止めたい時は、リズムのストップを押します。

C リズムを鳴らしましょう ➡ リズム 6ページ

リズムを止めたい時は
ストップを押します。



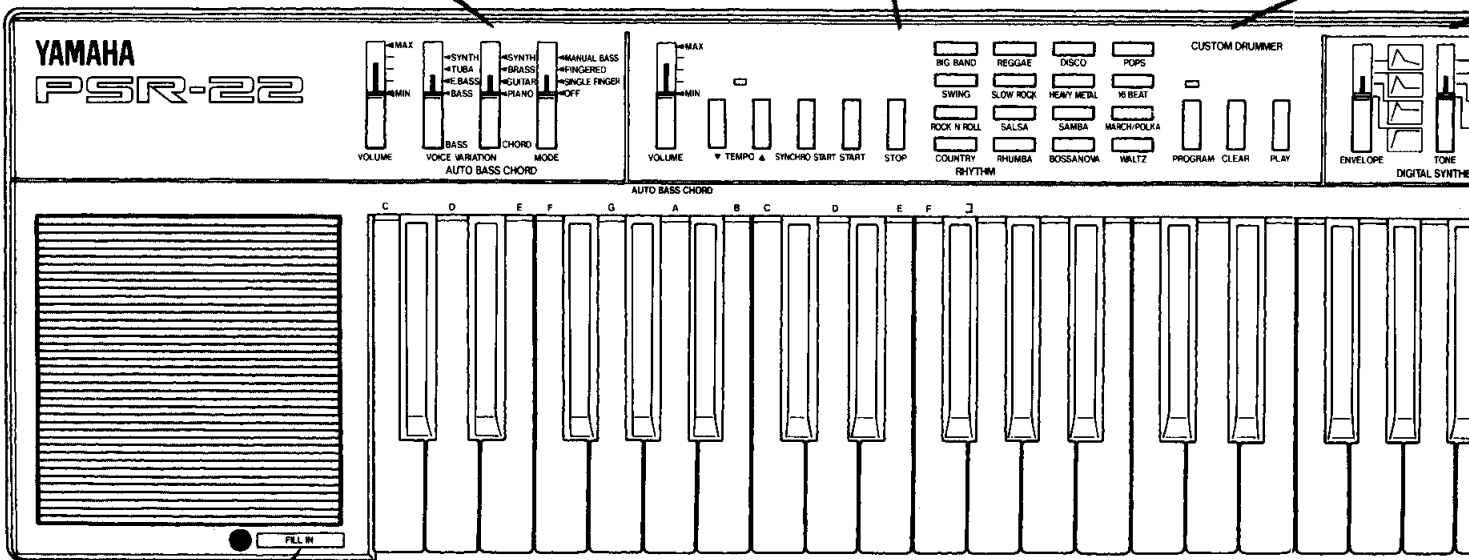
1. 好きなリズムを選びましょう。
2. ボリュームをまん中くらいに。
3. スタートを押します。選んだリズムが鳴り出しましたネ。

D オリジナルのリズム

1. [C] でリズムを選びます。
2. プログラムを押すとリズムが鳴り出します。
3. クリアを押すとリズムが「チツチツチツ」とい
4. [E] のカスタムドラマー用鍵盤のなかで、自分の楽器の音ははり、くりかえ
5. 完成したらリズムのストップを押します。
6. プレイを押して、つくったリズムを聞きましょう。

プレイを押して、キーボード・パーカッションも楽しいですよ。

譜面立ては、ポータートーンの底面についています。



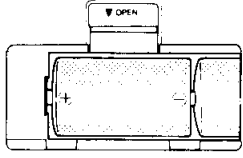
ヘッドホン端子はこのあたり。

リズムを一時的に変化させるボタンです。

オートベースコードをつかうときはこの鍵盤で自動伴奏をします。

1 電源のしたく

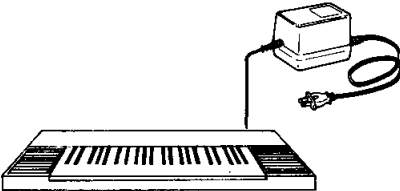
●電池を使う場合。
ポータサウンドをウラ返してケースのフタをあけ、単1乾電池を6コ入れます。



⊕と⊖の方向に注意！

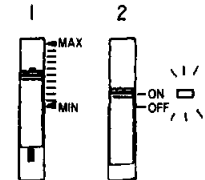
NOTE:
★電池が少なくなると、音がひずんだり、まちがった動作を起こしたりします。全部新しい電池と取りかえましょう。

●コンセントを使う場合。
付属品のアダプター〔PA-4〕を背面の付属端子〔DC 9-12V IN〕につなぎます。
〔PA-4〕以外は使えません。



2 音を出す準備

1. パワースイッチをON。パワーランプがつかます。
2. マスターボリュームを上げます。



MASTER VOLUME POWER

リズムパターンに挑戦！

カスタムドラマー
7-9ページ

PROGRAM CLEAR PLAY

音が消え、残ります。

鍵盤をたたきましょう。

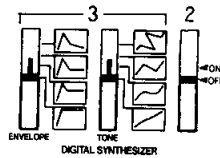
押したタイミングで演奏されます。

アップを押して、プログラムリズムパターンを聞いて

アクションの音を出して遊ぶだけで

B ちがう音色をつくりましょう

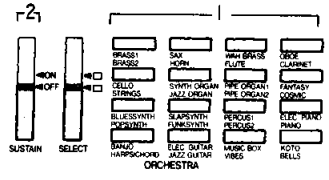
デジタルシンセサイザー
5ページ



1. [A]で好きな音色をセレクト。
2. スイッチをON。
3. レバーをいろいろに動かして、好きな音色をみつけましょう。

A 音色を変えてみましょう

オーケストラ
4ページ

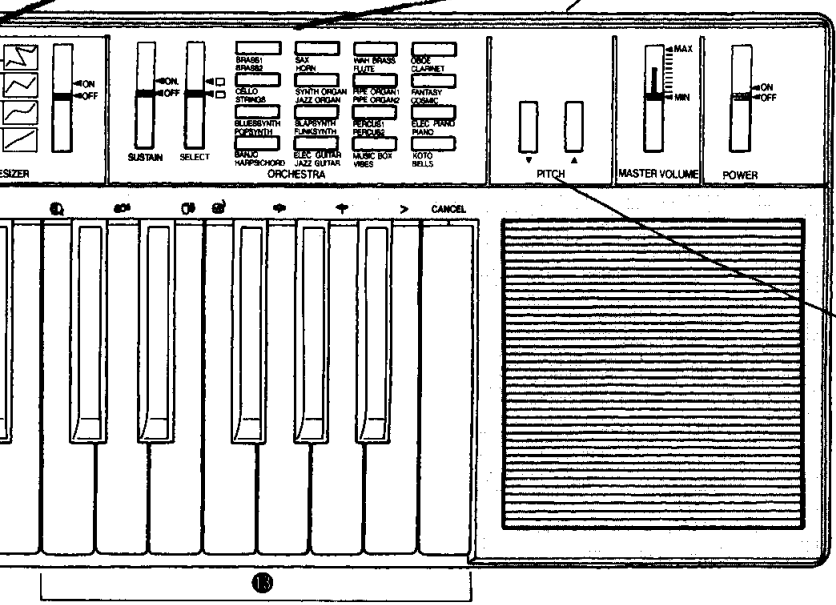


1. 好きな音色を選びましょう。
2. 音色に効果をつけてみると……

サステイン 自然な余韻のある音色になります。

音色セレクトスイッチ

トーンセクターの緑の音色を選びたいときは上にセットし、黒の音色を選びたいときは下にセットします。



付属端子はこのあたり

電源アダプターにつなぐ DC 9V-12V IN

エクスプレッションペダルにつなぐ EXP PEDAL

オーディオ接続コードにつなぐ AUX. OUT

チューニングしたい人は、鍵盤をおさえながら、このボタンを押します。

▲音程を上げるとき } 同時に2つ押すと、もとの音程(A₃=440Hz)
▼音程を下げるとき } にもどります。

NOTE:
★上下とも、ピッチコントロールを1回押すごとに、約3.2セント音程が変わります。(変化幅は上下約50セント、16回以上押ししても音程は変わりません。)また、押しつづければ少しずつ変わって行きます。
★鍵盤の音色は、ジャズオルガンのようにおさえたまでも音が消えないものを選ぶと、音程の変化がよくわかります。

カスタムドラマーをつかうときは、この白い鍵盤をたたきます。

オプションで、こんなこともできます。

●エクスプレッションペダルをつかう。

付属端子の〔EXP. PEDAL〕に、エクスプレッションペダルのプラグを差しこみます。

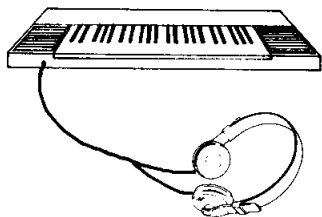
足で自由に音量調節
表情のある演奏がウレシイ。



●ヘッドホンを使う。

付属端子の〔HEADPHONES〕に、ヘッドホンのプラグを差しこみます。

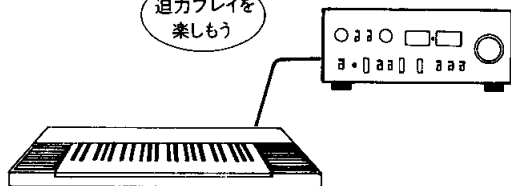
夜中の気まぐれプレイ
ヒミツ練習もOK!



●ステレオなど、出力の大きなスピーカーにつなぐ。

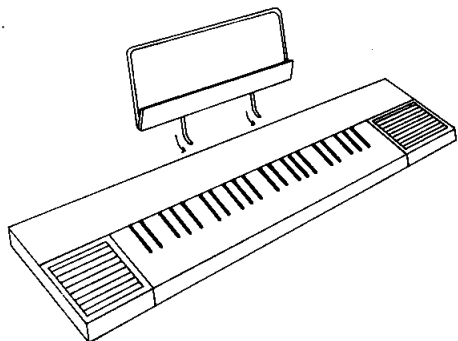
別売のオーディオ接続コードをつかって、〔AUX. OUT〕につなぎます。

迫力プレイを
楽しもう



譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、楽器の背中の部分上にある2つの穴に、その両端を差しこんで、ご使用ください。



各部の名称とはたらき

<全体のコントロール>

- ① パワースイッチ/パイロットランプ
電源を入れるスイッチ。電気が通じればパイロットランプが点灯。
- ② マスターボリューム
全体の音量を調節するレバー。
- ③ ピッチコントロール
他の楽器と音程を合わせるためのボタン。

<オーケストラ>⇒4ページ

- ④ オーケストラ ボタン
音色の種類を選ぶボタン。
- ⑤ 音色セレクトスイッチ
オーケストラボタンの音色の上下を選択するスイッチ。
- ⑥ サステイン
オーケストラ音色に自然な余韻をつけるスイッチ。

<デジタルシンセサイザー>⇒5ページ

- ⑦ デジタルシンセサイザースイッチ
デジタルシンセサイザーをつかうためのスイッチ。
- ⑧ トーンセクター
音色のもとになる波形を選ぶレバー。
- ⑨ エンベロープセクター
音の出方や消え方を選ぶレバー。

<カスタムドラマー>⇒7~9ページ

- プレイ
キーボードパーカッションの音を出す時や、プログラムされたリズムパターンを出す時に押すボタン。
- クリア
リズムパターンを消す時に押すボタン。
- プログラム/プログラムランプ
オリジナルのリズムパターンをプログラムする時に押すボタン。スタンバイの状態になると、プログラムランプが点灯。
- カスタムドラマー用鍵盤(白鍵のみ)
カスタムドラマーをつかうときにたたく鍵盤。

<リズム>⇒6ページ

- リズム ボタン
リズムの種類を選ぶボタン。
- ストップ
リズムをストップさせるボタン。
- スタート
リズムをスタートさせるボタン。
- シンクロスタート
このボタンを押すとリズムスタンバイとなり、オートベースコード用鍵盤を弾けばリズムがスタート。
- テンポコントロール/テンポランプ
リズムのテンポを調節するボタン。テンポランプで早さを確認できます。
- リズムボリューム
リズムの音量を調節するレバー。
- フィルイン
リズムが鳴っているとき、このボタンを押すとリズムが一時的に変化します。

<オートベースコード>⇒10~12ページ

- モードセクター
自動伴奏のやり方を選ぶレバー。
- コードボイスバリエーション
自動伴奏のコードの音色を変えるレバー。
- ベースボイスバリエーション
自動伴奏のベースの音色を変えるレバー。
- オートベースコードボリューム
自動伴奏のボリュームを調節するレバー。
- オートベースコード用鍵盤
自動伴奏をするときに、伴奏用にきりかえられる鍵盤。





メロディーを弾きながら
いろいろな音色に変えてみると
いちばん似合う音が
わかります。

まずは音色選びから

1 好きな音色をひとつ選びます。

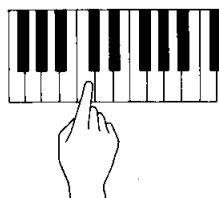
NOTE:

★パワースイッチをONにしたあと、何も選んでいない状態の時は、青色セレクトスイッチが上にセットされているときはプラス1、下にセットされているときはプラス2の音が出ます。

★いちどに2つ以上のボタンを押すと、すこしでもあとに押した方の音色が出ます。

2 鍵盤を押してみよう。

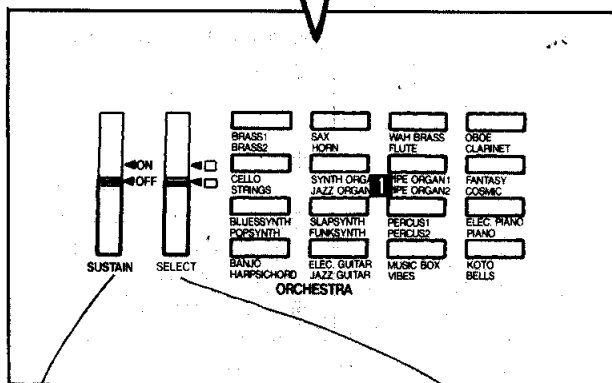
選んだ音色が出ましたね。



NOTE:

★いくつかの鍵盤を同時におさえた時は、9音まで鳴ります。

★音量はマスターボリュームで調節します。

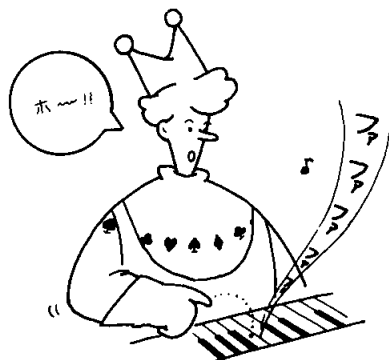


効果を加えてみましょう

音に余韻をつけたいとき

サステイン

サステインをONにすると、鍵盤から指をはなしたあとにも音が残り、自然に消えていく効果があります。



NOTE:

★サステインのかかり方は、音色によってちがいます。

★サステインは、鍵盤を押し続けていると音が消えてしまう音色に関しては、鍵盤を軽くたたくように弾くと、かかり方がよくわかります。

緑と黒の音色選択は、このスイッチで

ポータートーンは、トーンセクターの16個のボタンで、32音色が選べるようになっています。

緑の音色を選びたいときは、このスイッチを上セットし、黒の音色を選びたいときは、下にセットしてください。



オーケストラ(P4)だけでは82種類だけの音色が、これをつかうと288種類に広がります。ドキッとするような音色にめぐり会えるかも...



(P4)
1 オーケストラのオーケストラボタンの中から、好きな音色を選びます。

デジタルシンセサイザーは、オーケストラボタンの緑色の音色に対しては機能しません。音色セレクトスイッチはかならず下の位置にセットしてください。

2 スイッチをON。

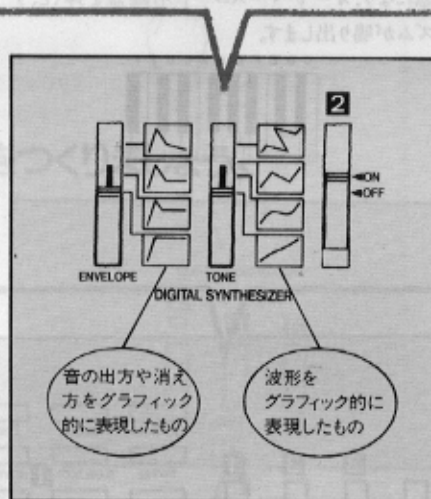
3 鍵盤をおさえながらレバーを動かして、曲のイメージにあった音色をさがしましょう。

〈エンベロープセクター〉

音の出方や消え方を選ぶレバーです。

〈トーンセクター〉

音色のもとになる波形を選ぶレバーです。



NOTE:

- ★音量は、マスターボリュームで調節します。
- ★オーケストラのサステインとビブラートの効果は、デジタルシンセサイザーをONにしている時にもつかえます。
- ★音色の変化する度合いは、選んだ音色によつちがいます。

(つくった音色はメモリーされます。)

1. 下の例にある〈A〉の音色をセットします。
2. その次に、〈B〉の音色をセットします。
3. 再び〈A〉で選んだオーケストラボタンを押し、鍵盤を押してみましょう。1でセットした時と同じ音色が出ましたね。

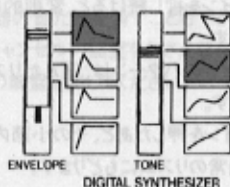
このように、デジタルシンセサイザーでつくった音色は、パワースイッチをOFFにしない限り消えませんが、オーケストラボタンごとに、最後に選んだ音色が記憶されています。演奏の前に、あらかじめメモリーしておく、オーケストラボタンをきりかえた時に、そのつどレバーを動かさずに演奏が続けられます。

デジタルシンセサイザーをつかって、新しい音色づくりに挑戦!

(A)

スぺーシー サウンド

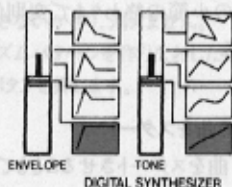
オーケストラボタンは **FUNKSYNTH**
テクノっぽい曲に。



(B)

ソフト スtrings

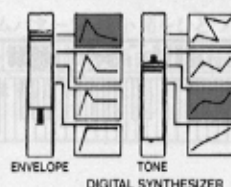
オーケストラボタンは **STRINGS**
ポップなバラード風の曲に。

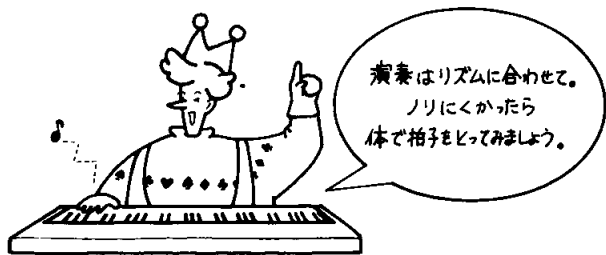


(C)

琴サウンド

オーケストラボタンは **JAZZ GUITAR**
サステインのスイッチもON。「ミファラシレミ」と弾いてみると、グッと琴らしさが出ます。

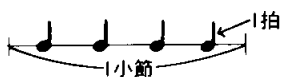




1 リズムを決めましょう。

好きなリズムをひとつ選びます。

[ワルツの3拍子以外は、すべて4拍子のリズム]



(ワルツのみ 1 2 3 4)

1小節が4拍でできているのを4拍子、3拍でできているのを3拍子といいます。

2 ボリュームを上げます。

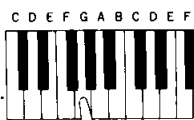
3 スタートか、シンクロスタートを押します。

すぐにリズムを出したい時 ⇒ スタート

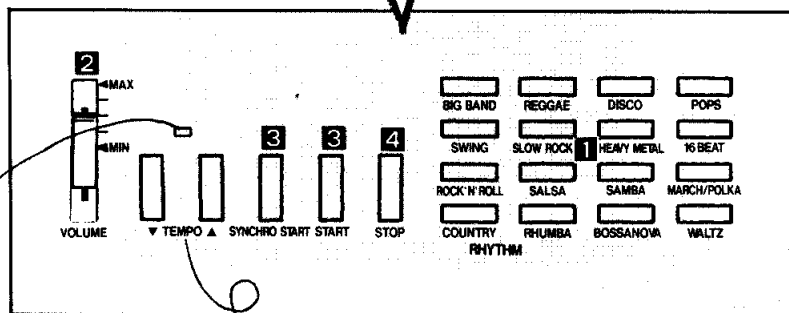
伴奏といっしょにリズムを出したい時

⇒ シンクロスタート

シンクロスタートを押すと、リズムスタンバイの状態になり、オートベースコード用鍵盤を弾くと、リズムが鳴り出します。



4 リズムを止めたい時は、ストップを押します。

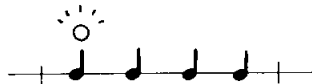


テンポランプは

①リズムの速さを確認するため。

②演奏をするとき、小節のはじまりを確認しながら弾くため。
に点灯します。

テンポランプ



(シンクロスタートを押し、リズムスタンバイの状態の時は、1拍ごとに点灯します。)

テンポを調節します。

テンポを速くしたい時は右(▲)、おそくしたい時は左(▼)を押してください。電源投入時の速さは J=120、1回押すごとに、下記の速さ変わっていきます。

<テンポアップ> ▲

J=120→125、130、140、150、160、170、183、
197、211、226、242、258、276、296、
317、340

J=120→116、113、106、100、93、86、80、74、70、
66、62、58、54、50、43、36

NOTE:

★パワースイッチをONにしたあと、何も選んでいない状態のときは、左上のビッグバンドのリズムが選ばれています。

★いちどに2つ以上のボタンを押すと、すこしでもあとに押した方のリズムが出ます。

★リズムボリュームが最小(MIN)になっていると、リズムの音は鳴りません。

★テンポコントロールは、2つのボタン(▲と▼)を同時に押すと、電源投入時の速さ(J=120)にもどります。

★テンポコントロールは、上下とも、17回以上押してもテンポは変わりません。

フィルイン

FILL IN

メロディーの切れ目など、必要なときにフィルインを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。

<フィルインで曲をスタート>

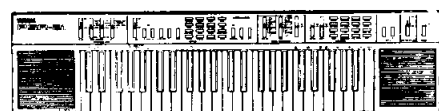
フィルインで曲をスタートさせることもできます。まずフィルインをONにしてから、リズムをスタートさせてください。

NOTE:

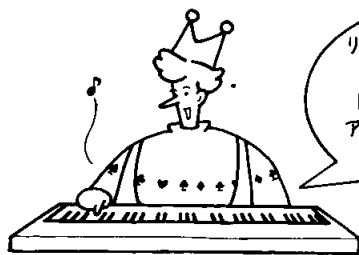
★フィルインを押し続けると、変則的なリズムが長く続きます。

★フィルインのパターンは、選んだリズムによって変化します。

★フィルインを押したあと、その小節内にもう一度押すと通常のリズムにもどります。



ここにあります。



リズムパターンをつくるなんて
難しく考えなくても、
自由にたたいてみると
アレっと思えばオリジナル
パターンが出来るかも。

楽しみかた1: キーボードパーカッションで遊びましょう。

1 プレイを押します。

2 カスタムドラマー用鍵盤をたたいてみましょう。



3 通常の演奏の状態にもどす時は、もういちどプレイを押します。

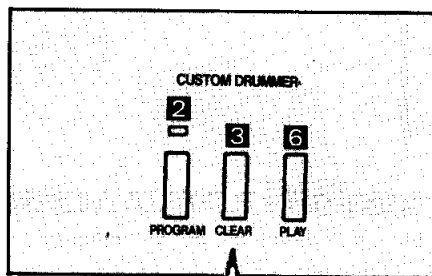
NOTE:

★プログラムが入っている状態でプレイを押すと、プログラムされたリズムパターンが鳴ってしまいます。この時は、プログラムのボタンを押してからクリアを押し、再度プレイを押しましょう。

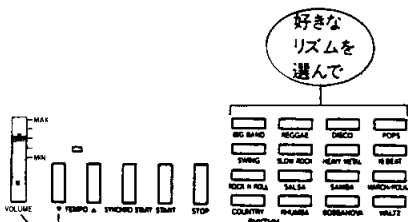
★カスタムドラマーをつかっている時は、通常のリズムは使用できません。

★音量は、リズムボリュームで調節します。

楽しみかた2: リズムパターンをつくりましょう。



(P6)
1 リズムをセット。



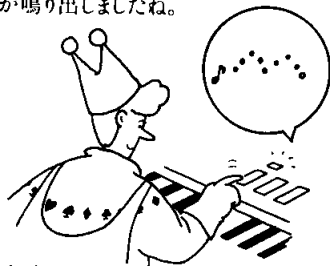
ボリュームテンポはOKですか?

好きなリズムを選んで

4 好みの打ちかたで、カスタムドラマー用鍵盤をたたいてみましょう。

2 プログラムを押します。

プログラムランプがついて、選んだリズムのパターンが鳴り出しましたね。



(P6)
5 リズムのストップのボタンを押してプログラム完了!

3 クリアを押します。

打楽器音が消えて、「チッチッチッチ」というハイハットクローズ(☞)の音だけが残ります。この音はメトロノームの役目をしていて、1拍ごとに1回鳴ります。

6 プレイを押して、つくったリズムパターンを聞いてみましょう。

プレイをもう一度押すと、リズムは止まります。リズムパターンはすでにプログラムされていますので、パワースイッチをOFFにするか、プログラムのボタンを押さないかぎり消えません。

NOTE:

★クリアを押さずに、もとのリズムパターンの上にパーカッションの音を加えることもできます。

★特定の打楽器の音だけを消すこともできます。いちばん右のキャンセルの鍵盤をおさえながら、消したい打楽器の鍵盤を押してください。

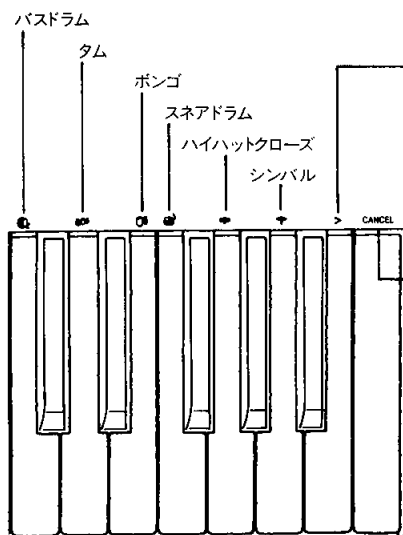
★メトロノームとして鳴っていた「チッチッチッチ」という音は、プログラム中にハイハットクローズ(☞)の音を押さないかぎり、消えません。

★途中でリズムパターンを作りなおしたくった時は、クリアのボタンを押します。

★つくったリズムパターンを使ってオートベースコード(P10~12)で演奏することもできます。

★リズムパターンは2小節をひとつのパターンとし、16分音符まで(1/8系では3連符まで)プログラムされます。

カスタムドラマー用鍵盤は、こんな内容です。



アクセント

リズムにアクセントをつけたいときにつかいます。プログラム中に強調させたい場所きたら、アクセントの鍵盤を押してください。その部分の打楽器音だけ、強い音になります。

キャンセル

特定の打楽器の音だけ消したいときにつかいます。プログラム中に、キャンセルの鍵盤をおさえながら消したい打楽器音の鍵盤を押すと、その打楽器の音だけが消されます。

まずは簡単なディスコのリズムに挑戦//

ディスコのリズムを選んでからプログラムを押し、クリアを押します。テンポランプで小節のはじまりを確認し、メトロノームの音で拍数を確認しながらたたきましょう。



メトロノームの1音の間隔は1拍(♩)、つまり「チツ・チツ・チツ・チツ」と4回鳴って1小節です。プログラムは2小節をひとつのパターンとして記憶されますから、その間にテンポランプは2回点灯、カウントは8回鳴ることになります。

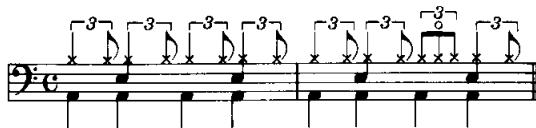
ポータートのリズムには、 $\frac{3}{4}$ ・ $\frac{4}{4}$ ・ $\frac{3}{8}$ 拍子の3種類があります。カスタムドラマーのリズムパターンは選んだリズムがもともとなるので、ワルツで4拍子のパターン、 $\frac{3}{8}$ 拍子で8ビートのパターンなど、“そのリズムからはつくりえないパターン”というのがあります。

$\frac{3}{8}$	ビッグバンド、スウィング、スローロック、レゲエ、ヘビーメタル
$\frac{4}{4}$	ディスコ、ポップス、ロックンロール、サルサ、サンバ、マーチ/ポルカ、16ビート、カントリー、ルンバ、ボサノバ
$\frac{3}{4}$	ワルツ

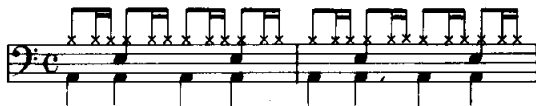
リズムパターンの実例

実際の曲に使われているリズムパターンを紹介しします。カスタムドラマーをつけて自分だけのリズムパターンをつくるときの、参考にしてください。

(マスターブラスター) リズムセクターは
レゲエ



(スリラー) リズムセクターは
ディスコ



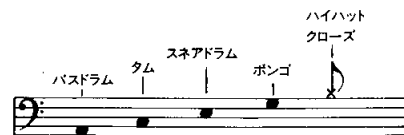
(スイートメモリーズ) リズムセクターは
スローロック



(素顔のままで) リズムセクターは
ポップス



記譜のしかた



NOTE

スティービー・ワンダーで大ヒットした、レゲエのリズムのナンバーです。2小節目のハイハットに気をつけてたたきましょう。

NOTE

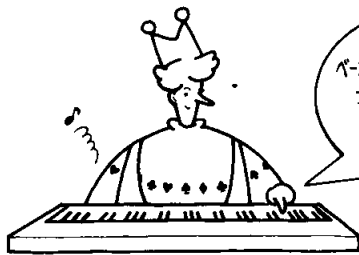
マイケル・ジャクソンの世界的ヒット。ディスコのリズムが基本ですが、ハイハットの独特なビートが、この曲らしさを出しています。

NOTE

おなじみ松田聖子のヒット曲。スローロックの変形で、バスドラムのたたき方に特徴があります。

NOTE

ビリー・ジョエルのなつかしいデビュー曲。8ビートでありながら、ラテン的な雰囲気をもつパターンです。

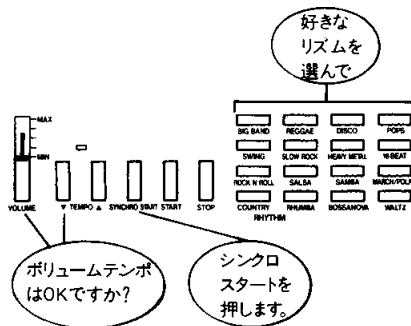


指1本でおでえただけで、ベースと和音の伴奏が出ます。コードが変わるときだけ左手を使えばいいから、両手演奏をもらおう。

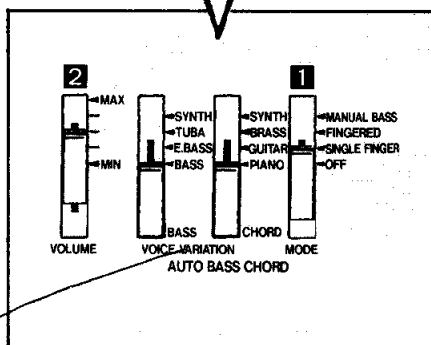
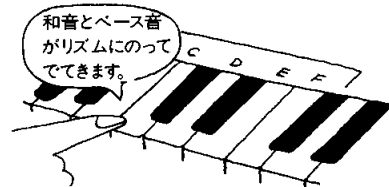
シングルフィンガーコード

- 1 モードをシングルフィンガーにセット。
- 2 オートベースコードボリュームを上げます。

- 3 (P6) リズムをセット。



- 4 オートベースコード用鍵盤をひとつおさえてみましょう。



ボイスバリエーションを動かすと、伴奏に出てくる音色が変わります。

[BASS]はベース、[CHORD]はコードの音色を変えるレバーです。



いろいろ動かして、伴奏の音色づくりを楽しみましょう。

NOTE:

- ★オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっていると、伴奏の音が出ません。
- ★オートベースコードをつかって弾くとき、メロディーの鍵盤で同時に音を出せるのは2音までです。
- ★オートベースコード用鍵盤から指をはなしたあと、同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押してください。

- ★コードを変えるところで、指をオートベースコード用鍵盤からはなさないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。いったん鍵盤から指をはなすようにしてください。
- ★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色とは関係ありません。
- ★伴奏は、リズムと同時に始まり、リズムと同時に止まります。止めたい時は、リズムのストップボタンを押してください。

ラブ・ミー・テンダーを弾いてみましょう。

- (左のページの通りに)
- 1 オートバースコードをシングルフィンガーにセット。
 - (P4)
2 オーケストラのオーケストラボタンは、ジャズオルガンを選びます。

- (P6)
- 3 リズムはポップスを選びます。
★テンポは、ややスローに。(テンポダウンのボタン▼を6回押します。)
 - 4 シンクロスタートを押します。

ラブ・ミー・テンダー

作詞・作曲/E. Presley & V. Matson

Love me Tender

POPS

JAZZ ORGAN

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号 ©1956 by ELVIS PRESLEY Music, Inc.
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

★コードのおさえ方

シングルフィンガーコードのだし方

シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートバースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。

鍵盤で押す位置

コードネーム

でてくる和音 (メジャーコード)

♯、♭のついているコードのだし方

♯がっていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、♭がっていたら左上の黒鍵をおせば、♯・♭のついたコードがだせます。

セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード(C, Dなど)をメジャーコードといいます。伴奏はメジャーコードだけでは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下の図のように、2つの鍵盤を同時に押すことでだすことができます。

C(メジャーコード)

C7(セブンスコード)

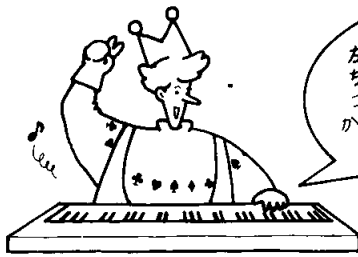
Cm(マイナーコード)

Cm7(マイナーセブンスコード)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す。(どれてもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す。(どれてもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に(3番)押す。(どれてもよい)



左手で和音をおさえる、
ちょっと高度な自動伴奏。
コードを知っている人なら
かえってシングルフィンガーより
楽に弾けるかも…。

フィンガードコード

1 モードをフィンガードにセット。

2 オートベースコードボリュームを上げます。

3 (P6) リズムをセット。

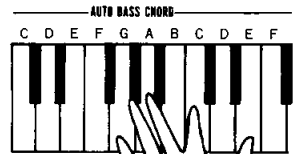
4 オートベースコード用鍵盤で和音をおさえてみましょう。

好きなリズムを選んで。

MAX	MIN	TEMPO	SYNCHRO	START	STOP
VOLUME					
RHYTHM					
BIG BAND	REGGAE	DISCO	POPS		
SWING	SLOW ROCK	HEAVY METAL	W. BEAT		
ROCK 'N' ROLL	SALSA	GAMMA	W. FUNK		
COUNTRY	REXAMBA	BOSSANOVA	WALTZ		

ボリューム、テンポはOKですか？

シンクロスタートを押します。



和音とベース音が、リズムによってでてきます。

伴奏の音色をセレクト。

[BASS]はベース、[CHORD]はコードの音色を変えるレバーです。

VOICE VARIATION AUTO BASS CHORD

MAX	MIN	SYNTH	MANUAL BASS
VOLUME		TUBA	FINGERED
VOICE VARIATION		BASS	SINGLE FINGER
BASS		CHORD	OFF
TUBA		MODE	
BASS			
CHORD			
MODE			

NOTE:

- ★オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっていると、伴奏の音が出ません。
- ★フィンガードでつかえるコードは、次の7種類です。たとえばCコードの場合……
<C, Cm, C7, Cm7, Cma17, Cm7⁻⁵, C7sus4>
これ以外のコードの場合は、押鍵している和音の最低音をベースとして演奏します。
- ★シングルフィンガーのページ(P10)にあるNOTEの内容は、フィンガードにも共通です。

自分でベース音を弾きたくなる曲もあります。

マニュアルベース …………… オートベースコードのモードをマニュアルベースにセットすると、オートベースコード用鍵盤の部分が、ベース音になります。

<「青い影」のイントロを弾いてみましょう。>

1. モードをマニュアルベースにセット。
2. ベースボイスバリエーションは、チューバを選びます。
3. オーケストラ(P4)のオーケストラボタンは、パイプオルガンを選びます。
4. ポップスのリズム(P5)にあわせて、スローテンポで弾きましょう。

作曲: K.Reid & G.Brooker

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号

©Copyright 1967 by WESTMINSTER MUSIC LTD., London, England Rights for Japan controlled by TRO Essex Japan Ltd., Tokyo Authorized for sale in Japan only

NOTE: マニュアルベースをつかって弾くとき、左手(オートベースコード用鍵盤)は1音のみ、右手(メロディーの鍵盤)はリズムなしで5音、リズムをつかう時は2音まで同時に音が出ます。

★最初のセッティング

MAX MIN VOLUME VOICE VARIATION AUTO BASS CHORD MODE

MAX MIN VOLUME TEMPO SYNCHRO START STOP

RHYTHM: BIG BAND, REGGAE, DISCO, POPS, SWING, SLOW ROCK, HEAVY METAL, 16 BEAT, ROCK 'N' ROLL, SALSA, SAMBA, MARCH/POLKA, COUNTRY, RHUMBA, BOSSANOVIA, WALTZ

CUSTOM DRUMMER: PROGRAM, CLEAR, PLAY

ENVELOPE

PLAY

ENVELOPE, TONE, DIGITAL SYNTHESIZER, SUSTAIN, SELECT

ORCHESTRA: BRASS (BRASS, BRASS), SAX (SAX HORN), WAH BRASS (WAH BRASS), FLUTE (FLUTE), OBOE (OBOE), CLARINET (CLARINET), Cello STRINGS (CELLO STRINGS), SYNTH ORGAN (SYNTH ORGAN), PIPE ORGAN (PIPE ORGAN), FANTASY COSMIC (FANTASY COSMIC), SLAPSYNTH (SLAPSYNTH), FLANKSYNTH (FLANKSYNTH), PERCUSSIVE PERCUSSIVE, PERCUSSIVE PERCUSSIVE, ELEC GUITAR (ELEC GUITAR), JAZZ SLAP (JAZZ SLAP), MUSIC BOX (MUSIC BOX), VIBES (VIBES), ELEC PIANO (ELEC PIANO), PIANO (PIANO), KOTO BELLS (KOTO BELLS)

PITCH, MASTER VOLUME, POWER

マイウェイ

作詞: Gilles Thibaut
作曲: Jacques Revaux
Claude Francois

♩ = 80

My way

い ま と な み だ が と ち か づ え
く み に こ の と き ぶ に れ と ま た お も え み ば わ た し
は い ふ り か え る を と お く た び し て あ る い
た ず に わ く こ ひ と よ き べ て の こ こ ろ の き め た た
ま ま ま ま に あ い に わ た し
に は あ い す る う た が あ る か ら し ん じ
た こ の み ち を わ た し は ゆ く だ け す べ て
は こ こ ろ の き め た ま ま に

■コードのおさえ方

C, Em, Gm, A7, Dm, Dm7, G7, C7, F, Fm, Em7, Am

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号
©1967 by Barclay Morris S.A./Jeune-Musique.
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K.K.

★最初のセッティング

VOLUME
MAX MIN

VOICE VARIATION
SYNTH TUBA
BASS
AUTO BASS CHORD

CHORD
SYNTH BRASS
GUITAR
PIANO

MODE
MANUAL BASS
FINGERED
SINGLE FINGER
OFF

VOLUME
MAX MIN

▼ **TEMPO** ▲

SYNCHRO START START STOP

RHYTHM

BIG BAND	REGGAE	DISCO	POPS
SWING	SLOW ROCK	HEAVY METAL	16 BEAT
ROCK N' ROLL	SALSA	SAMBA	MARCH/POLKA
COUNTRY	RUMBA	BOSSANOVA	WALTZ

CUSTOM DRUMMER

PROGRAM CLEAR PLAY

ENVELOPE

PLAY

ENVELOPE

DIGITAL SYNTHESIZER

SUSTAIN ON OFF

SELECT

ORCHESTRA

BRASS	SAX HORN	WHI BRASS	FLUTE	OBEE	CLARINET
CELLO	STRAINS	SYNTH ORGAN	JAZZ ORGAN	PIPE ORGAN	FANTASY ORGAN
BLUES SYNTH	POPS SYNTH	SLAPS SYNTH	FLANKS SYNTH	PERCUSS	PERCUSS
ORCHESTR	JAZZ GUITAR	JAZZ GUITAR	ALICE BOX	VIBES	KOTO BELLS

▼ **PITCH** ▲

MASTER VOLUME ON OFF

POWER

くちなしの花

作詞:水木かおる
作曲:遠藤 実

♩=100

Am Dm G7 C

Dm Am E7 Am

Am Dm E7

い - までは ゆび わも ま - わる ほ ど

Dm Am E7 Am

や せ て - や つ れ た - お ま え の う わ さ

Am Dm E7

く ち な し の は な の は な の か お り が

Am F E7 Am Dm

た び じ の は て ま で つ い て く る く ち な し の し ろ い は な

Am F E7 B7 E7 Am

お ま え の よ う - な は な だ - っ た

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号
©Copyright by Diamond Music Publisher Co. Ltd.

■コードのおさえ方



★最初のセッティング

オンザサニーサイドオブザストリート

作曲: J. McHugh

On the Sunny Side of the Street

♩ = 100

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号
 ©Copyright 1930 and 1957 by SHAPIRO, BERNSTEIN & CO., INC.,
 New York, N.Y., U.S.A.
 Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
 Authorized for sale in Japan only

■コードのおさえ方

★最初のセッティング

君といつまでも

作詞: 岩谷時子
作曲: 弾 厚作

♩ = 80

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572221-501号
©1965 by Watanabe Music Pub.

■コードのおさえ方

故障と誤りやすい現象

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パワースイッチを早くON、OFF、ONとしたら音がでない。	ONにして、パイロットランプが点灯する前に電源を入れなおしたため。	もう一度OFFにしてから、少したつたあとでONにしてください。
オートベースコード用鍵盤の部分だけオーケストラで選んだ音色が出ない。	オートベースコードのモードのレバーが、OFF以外の位置にあるため。	モードのレバーをOFFにしてください。
オーケストラで選んだ音色と違う音色が出る。	デジタルシンセサイザースイッチがONになっているため。(デジタルシンセサイザーのエンベロープセレクターとトーンセレクターによって、オーケストラの音色は変化します)	デジタルシンセサイザースイッチをOFFにしてください。
リズムの音が出ない。	①リズムボリュームが最小(MIN)になっているため。 ②スタート、またはシンクロススタートのボタンを押していないため。 ③シンクロススタートのボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していないため。	6ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
カスタムドラマーの音が出ない。	リズムボリュームが最小(MIN)になっているため。	リズムボリュームを上げてください。
プログラム中に、カスタムドラマーの音が出なくなった。	プログラムにはいる音の数(ハイハットクローズをのぞく5種類までの音)をオーバーしているため。	7ページの説明をお読みください。
プログラムに入れたリズムパターンが消えてしまった。	①パワースイッチをOFFにしたため。 ②プログラム完了のあとで、プログラムのボタンを押したため。	一度消えたプログラムを呼びもどすことはできません。7ページの説明をお読みください。
オートベースコードの音が出ない。	①オートベースコード用鍵盤をおさえていないため。 ②リズムがセットされていないため。 ③オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっているため。	①②10~12ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ③オートベースコードボリュームを上げてください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指をおさえても思ったとおりのコードが出ない。	①オートベースコード用鍵盤から、いったん指をはなさずに弾いているため。 ②シングルフィンガーコードのモードでフィンガードコードをおさえている、あるいはその反対のため。	①コードを変えるときは、いちど指を鍵盤からはなすようにしてください。 ②シングルフィンガーコードと、フィンガードコードでは、おさえ方がちがいます。
パイロットランプが暗くなったり、誤動作が起きたりする。	電池がなくなりかけているため。	すべて新しい電池と交換してください。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 49鍵 (C1~C5)

■音色スイッチ

プラス1/プラス2
 サックス/ホルン
 ワウラス/フルート
 オーボエ/クラリネット
 チェロ/ストリングス
 シンセオルガン/ジャズオルガン
 パイプオルガン1/パイプオルガン2
 ファンタジー/コズミック
 ブルースシンセ/ポップシンセ
 フラップシンセ/ファンクシンセ
 パーカス1/パーカス2
 エレクトリックピアノ/ピアノ
 バンジョー/ハーブシコード
 エレクトリックギター/ジャズギター
 ミュージックボックス/バイブス
 琴/ベルズ
 音色セレクトスイッチ

■音色効果

サステインスイッチ

■デジタルシンセサイザー

エンベロープレバー
 トーンレバー
 ON/OFFスイッチ

■リズムスイッチ

ビッグバンド
 レゲエ
 ディスコ
 ポップス
 スウィング
 スローロック
 ヘビーメタル
 16ビート
 ロックンロール
 サルサ
 サンバ
 マーチ/ポルカ
 カントリー
 ルンバ
 ポサノバ
 ワルツ

 (リズムコントロール)
 シンクロスタートスイッチ
 スタートスイッチ
 ストップスイッチ
 フィルインスイッチ
 テンポアップスイッチ
 テンポダウンスイッチ
 テンポランプ
 リズムボリューム

■カスタムドラマー

プログラムスイッチ
 プログラムランプ
 クリアスイッチ
 プレイスイッチ

■オートベースコード

モードスイッチ
 ベースボイスバリエーション
 スイッチ
 コードボイスバリエーション
 スイッチ
 オートベースコードボリューム

■その他のコントロール

パワースイッチ
 パイロットランプ
 マスターボリューム
 ピッチアップスイッチ
 ピッチダウンスイッチ

■メインアンプ

2.5W×2

■スピーカー

12cm (4Ω) ×2

■定格電源

DC9V: 単1乾電池6個
 電源アダプター (PA-4)

■消費電力

電源アダプター使用時/5.3W
 乾電池使用時/2.7W
 (電池寿命: 通常演奏で連続15時間以上)

■付属端子

EXP. PEDAL JACK
 AUX. OUT JACK
 DC9-12V IN JACK
 HEADPHONES JACK

■寸法・外装

本体材質: スチロール樹脂
 間口: 980mm
 奥行: 236mm
 高さ: 85mm
 重量: 5.3kg

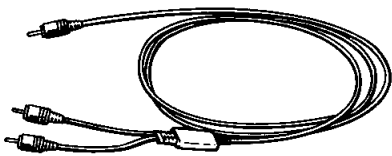
■付属品

電源アダプター (PA-4)

●オプション(別売付属品)

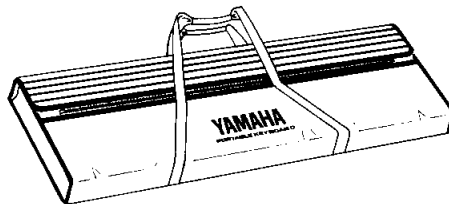
●分岐接続コード(PC-2)

¥1,000



●専用ソフトケース(SCC-I8)

¥5,000



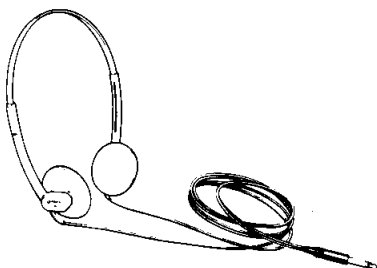
●キーボードクラブ(キーボード用楽譜集)

VOL.1 歌謡ヒットソング ¥1,200
 VOL.2 ポピュラー ¥1,200
 VOL.3 ホームミュージック ¥1,000



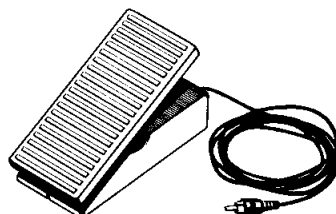
●ステレオヘッドホン(HPE-3)

¥3,000



●エクスプレッションペダル(EP-1)

¥2,400



アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けて点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL. 0878-51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター TEL. 052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL. 011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL. 082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534-65-6711

(本社)

電音サービス部
〒435 浜松市上西町911
TEL. 0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社
シングルキーボード事業部 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(60)3275

東 京 営 業 所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 ハールビル
TEL.03(572)3111

大 阪 営 業 所 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
TEL.06(252)7491

名 古 屋 営 業 所 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5145

九 州 営 業 所 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2151

北 海 道 営 業 所 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター
TEL.011(512)6113

仙 台 営 業 所 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル
TEL.022(222)6141

広 島 営 業 所 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3749



YAMAHA feelin' club



T4960693003442